



茨城県の近代化遺産

(建造物等)

旧真壁郵便局

桜川市真壁町大字真壁297

昭和2年に第五十銀行（現常陽銀行）真壁支店として建設された。その後、所有者も替わり幾度かの転用を経て、昭和31年から昭和61年まで真壁郵便局（特定郵便局）として使用された。建物の構造は木造を基調としているが、壁面には壁式鉄網コンクリートが用いられている。外壁にはセメント洗出し仕上げの石貼り風の目地が用いられており、伝統的な木造建築がほとんどの真壁町の中ではひととき目立つランドマーク的な存在となっている。現在は、町並み案内所として利用されている。

[出典：茨城県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書 茨城県教育委員会刊]

主な内容

- ▼ 令和5年度定時総会を開催
- ▼ 令和5年度の会長表彰等受賞者
- ▼ 関東地方整備局と意見交換
- ▼ 各支部が定時総会を開催

本会ホームページに「茨建協ニュース」の内容を掲載しています。ご活用ください。

本会はコンプライアンス(法令遵守)をさらに徹底します

発行 一般社団法人 茨城県建設業協会

〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-1-22

電話 029-221-5126 (代)

H P <http://www.ibaken.or.jp/>

編集 日本工業経済新聞社・水戸支局

経営強化し人材の確保・育成を

本会が令和5年度定時総会

本会（石津健光会長）は5月25日、令和5年度定時総会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和5年度の事業計画などが報告されました。令和5年度も会員企業の経営基盤の強化や県民の安全・安心の確保へ、各種講習会の開催や地域貢献活動、人材の確保・育成などに取り組めます。

あいさつで石津会長は建設業を取り巻く厳しい環境を指摘し、「会員企業が適正な利潤を確保し、将来にわたり経営基盤の強化を図ることが不可欠である。そのうえで、新しい3K（給料が良く、休暇が取れ、希望が持てる）に『カッコ良い』をプラスした選ばれる魅力ある業界に」と強調。



石津会長

さらに「働き方改革の一層の推進へ、専門工事業や建設関連団体と連携し、適正な利潤と工期設定の確保に取り組む。地方の建設業が置かれている課題について国、県、関係機関と意見交換を行いながら活動を推進していく」と述べました。

本会顧問の石井邦一県議会議長は「国土強靱化の歩みを進めていかなければならない。活力ある県づくりへインフラの整備にも取り組みたい」と期待。

白田信夫県議は「災害時の対応など建設業は地域になくてはならない。社会資本の整備、県内業者の最優先活用にも取り組む」と述べました。

星田浩司県議は「新たな3K実現へ働き方改革への財源確保も重要になる。業界発展ために努力していきたい」と祈念しました。

議事では令和4年度の事業報告・収支決算承認、令和5年度の事業計画・収支予算報告が承認。

令和5年度も経営基盤の強化および地域への



総会では令和5年度の事業計画報告などが承認されました



石井県議会議長



白田県議会議員



星田県議会議員

貢献として、公共事業予算の安定的な確保・拡大への要望提言、各種セミナーや講習会の開催、災害時の応急対応、道路清掃活動などを推進します。

また、建設現場見学会や建設業インターンシップ、建設業親子見学会や建設フェスタの開催、毎月土曜日の一斉休工などを実施。時間外労働の罰則付き上限規制への対応検討、建女ひばり会の活動推進、建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及などに取り組めます。

議案では、理事に矢口和博氏（元県生活環境部長）、監事に松本尚佳氏（東日本建設業保証㈱茨城支店長）が就任することを承認。臨時理事会で矢口氏の専務理事就任が承認されました。

長年の功績に感謝 会長表彰等受賞者(敬称略・順不同)

本会の令和5年度会長表彰等の表彰式が5月25日の総会前に行われました。全国建設業協会会長表彰、建設業福祉共済団理事長表彰の受賞者伝達も実施されました。長年にわたり業界の発展や建設業福祉共済事業に貢献した会員企業や代表者、従業員を称えるものです。おめでとうございます。

表彰式では石津会長が受賞者に表彰状を授与。「受賞は日ごろのご努力のたまものです。今後もより一層、技術の研さんに努められ、社業の発展と地域の良きリーダーとしてご活躍を」と祝辞。

受賞者を代表して(株)鶴田組の鶴田哲男代表取締役が「受賞は身に余る光栄です。決意も新たに今後も業務に精励し、業界発展のために力を尽くしてまいります」と謝辞を献じました。



業界の発展に貢献した会員企業などを表彰しました

■ 茨城県建設業協会会長表彰 ■

【第3条（特別功労）】

- ◆坂場正道（(株)鯉淵工業取締役、水戸支部）
- ◆兼山由美（県建設業協会水戸支部、水戸支部）
- ◆後藤正一（(株)後藤工務店会長、太田支部）
- ◆鶴田哲男（(株)鶴田組代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆川崎升夫（(株)川崎建設代表取締役、常陸大宮支部）
- ◆鈴木喜一（(株)藤田工務店取締役、大子支部）
- ◆小山繁（大城建設(株)代表取締役、高萩支部）
- ◆堀江光（(株)光建代表取締役、鉾田支部）
- ◆茂木伊津夫（(株)茂木工務店代表取締役、潮来支部）
- ◆菱木正治（(株)菱木土建代表取締役、潮来支部）
- ◆赤塚康伸（赤塚工業(株)代表取締役、竜ヶ崎支部）
- ◆久保田孝（(株)進貢代表取締役、土浦支部）
- ◆木村三益（丸三商事工業(株)代表取締役、常総支部）
- ◆岡本重男（(株)岡本工務店代表取締役、境支部）

【第5条（会員の従業員）】

- ◆川原吉雄（菅原建設(株)、水戸支部）
- ◆高橋範智（田口建設工業(株)、水戸支部）
- ◆仲野谷昭（株木建設(株)、水戸支部）
- ◆船橋修治（(株)根本工務所、太田支部）
- ◆江幡東（(株)浅川建設、常陸大宮支部）
- ◆藤井朝夫（吉原建設工業(株)、大子支部）
- ◆樋熊弘克（サコー建設(株)、高萩支部）
- ◆根本稔（(株)松崎土木、潮来支部）
- ◆石田登（(株)木村工務店、土浦支部）
- ◆久保田光一（(株)高田工務店、土浦支部）
- ◆猪野雅也（(株)新栄開発、境支部）
- ◆風見昌司（(株)中村組、境支部）

■ 全国建設業協会会長表彰 ■

【第2条第2号】

- ◆後藤正一（(株)後藤工務店会長、太田支部）

【第2条第3号】

- ◆鶴田哲男（(株)鶴田組代表取締役、常陸大宮支部）

【第2条第4号】

- ◆坂場正道（(株)鯉淵工業取締役、水戸支部）
- ◆鈴木喜一（(株)藤田工務店取締役、大子支部）
- ◆小山繁（大城建設(株)代表取締役、高萩支部）
- ◆茂木伊津夫（(株)茂木工務店代表取締役、潮来支部）
- ◆木村三益（丸三商事工業(株)代表取締役、常総支部）

【第2条第7号】

- ◆兼山由美（県建設業協会水戸支部、水戸支部）

【第4条第1号】

- ◆(株)川崎建設（常陸大宮支部）
- ◆(株)光建（鉾田支部）
- ◆(株)菱木土建（潮来支部）
- ◆赤塚工業(株)（竜ヶ崎支部）
- ◆(株)進貢（土浦支部）
- ◆(株)岡本工務店（境支部）

【第5条】

- ◆川原吉雄（菅原建設(株)、水戸支部）
- ◆高橋範智（田口建設工業(株)、水戸支部）
- ◆仲野谷昭（株木建設(株)、水戸支部）
- ◆船橋修治（(株)根本工務所、太田支部）
- ◆江幡東（(株)浅川建設、常陸大宮支部）
- ◆藤井朝夫（吉原建設工業(株)、大子支部）
- ◆樋熊弘克（サコー建設(株)、高萩支部）
- ◆根本稔（(株)松崎土木、潮来支部）
- ◆石田登（(株)木村工務店、土浦支部）
- ◆久保田光一（(株)高田工務店、土浦支部）
- ◆猪野雅也（(株)新栄開発、境支部）
- ◆風見昌司（(株)中村組、境支部）

■ 建設業福祉共済団理事長表彰 ■

- ◆田口恵一郎（県建設業協会常任理事）
- ◆中野章（県建設業協会理事）
- ◆阪口樹利（県建設業協会理事）
- ◆岩上康雄（県建設業協会専務理事）
- ◆金田将志（県建設業協会業務課長）

円滑な施工へ関東整備局と懇談会

公共工事の円滑な施工を確保し受発注者の課題について意見交換を行うため、本会の正副会長と国土交通省関東地方整備局の幹部との懇談会が6月5日、WEB形式で行われました。

懇談会では関東整備局から予算の執行状況、建設業における2024年問題に向けた関東整備局の取り組み、スライド条項、関東DX・i-Construction人材育成センター、盛土規制法などの説明があり、意見を交換しました。

関東整備局の廣瀬昌由局長は、6月初旬の大雨による災害防止へ本会会員が尽力していることに感謝を述べました。そして「働き方改革や担い手の確保、さらには地域の建設業が抱えている課題について、忌憚^{きたん}のない意見をお願いしたい」とあいさつ。



正副会長がWEB方式で参加しました

本会の石津健光会長は「担い手の確保や働き方改革など喫緊の課題に対応しながら、防災・減災、国土強靱化の推進のために、公共工事の円滑な執行に向け、緊密な連携を図ってまいりたい。引き続きご指導・ご配慮をお願い申し上げる」とあいさつしました。

活発に活動展開を 舗装部会が定時総会

本会の舗装部会（秋山光伯部会長）は5月18日、令和5年度定時総会を水戸ドライブイン（水戸市）で開催。令和5年度事業計画などを承認し、役員選任では秋山部会長の続投を決定しました。



秋山部会長

秋山部会長は「舗装の必要性は変わらない。道路関係の仕事が充実するよう努力したい。本年度は技術講習会など活発に活動したい。働き方改革についても知恵を出し合って工夫し、効率的に仕事できるようにしたい」と述べました。

令和5年度の主な事業計画は、栃木、群馬両県団体との舗装三県合同協議会、技術講習会、理事会、研究室委員会など。

現体制総仕上げの年に 建設未来協議会が総会

本会の建設未来協議会（鈴木達二会長）は5月12日、第31回定時総会を水戸市のホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸で開催し、令和5年度事業計画などを決定しました。令和5年度を現体制総仕上げ



鈴木会長

の年と位置付け、地域貢献、生産性向上、次世代育成、広報の4分野の事業を推進します。

鈴木会長は「これまでの基本方針を踏襲し、現体制の総仕上げの年度としたい。成果をより確実なものにするため、会員の皆さんと一丸となって進めてまいりたい」と決意を述べました。

来賓の協会本部の石津健光会長、茨城県土木部の田村央部長が同会の発展に期待を寄せました。

各支部が令和5年度定時総会

水戸支部

経営力・技術力向上を



下田支部長

水戸支部（下田德行支部長）は5月11日、令和5年度の定時総会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。令和5年度の事業計画案などを承認しました。

下田支部長は支部運営への会員企業の協力に感謝の意を表し、「会員企業の経営体質の増強、時間外労働の上限規制、担い手の確保などに対応し、少しでも魅力ある会社にな」と呼び掛けました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆経営者研修会、経営講習会、雇用管理研修会
- ◆管内優秀工事技術者表彰式、現場代理人技術研修会、優良工事現場視察研修会の開催
- ◆「道の日」清掃作業・美化活動、献血会

常陸大宮支部

支部一体となり課題解決



高野支部長

常陸大宮支部（高野潔支部長）は5月12日、支部会館で令和5年度定時総会を開催。令和5年度の事業計画を承認しました。

高野支部長は「業界を若い世代に受け継いでもらうため、労働環境の改善、週休二日制の導入に努めていく。ICT技術推進のため講習会などを実施し、経営の前進に活用していきたい。自然災害への対応についても、常日頃からの警戒をお願いしたい」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆現場見学会
- ◆道の日清掃活動
- ◆ICT、週休2日制促進の研修会

太田支部

災害には支部全体で貢献



瀬谷支部長

太田支部（瀬谷實支部長）は5月11日、支部会館で令和5年度定時総会を開催。令和5年度の事業計画案などを可決しました。

瀬谷支部長は、鳥インフルエンザの防疫活動に感謝を述べ、「建設業界全体が働き方改革に向けて動き出している。支部全体で協力して取り組みに準じていきたい。今年度はより一層、自然災害に対して警戒し、緊急時は支部全員で地域貢献作業をしていく」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆研修会・講習会などの建設業推進運動
- ◆地域貢献活動
- ◆懇談会、献血活動、グリーン会、未来協議会

大子支部

一致団結して使命果たす



大藤支部長

大子支部（大藤博文支部長）は5月11日、第60回定時総会を支部会館で開催。令和5年度の事業計画案などを承認しました。令和5年度は経営基盤の強化やICT等技術の研さんを進めます。

大藤支部長は「感染症拡大の収束が見えてきたが、原材料価格の高騰や人材不足など厳しい状況が続いている。建設業には住民の安全で安心な暮らしを守る役割がある。『24年問題』を視野に働き方改革やICT活用に、支部内で一致団結して取り組んでまいりたい」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆安全パトロール ◆災害時の支援活動
- ◆道路美化活動（オオキンケイギク駆除活動）

「地域を守る」使命胸に

各支部が
定時総会

竜ヶ崎支部

社会的使命を果たす



細谷支部長

竜ヶ崎支部（細谷武史支部長）は5月11日、令和5年度定時総会を支部会館で開催し、令和5年度事業計画などを承認しました。

細谷支部長は鳥インフルエンザ防疫に対する会員に感謝の意を示し「昨年は建設業においても資機材の価格高騰や品薄などの影響を受ける1年となった」と振り返り「災害時に最前線で対応に当たる地域の守り手という重要な役割を担い、社会的使命を継続して果たすため、地域建設業が持続的・安定的な経営を続けていくことが肝要」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆各種講習会、研修会 ◆道路美化清掃活動
- ◆安全パトロール

筑西支部

守り手の重要性訴える



小薬支部長

筑西支部（小薬拓巳支部長）は5月11日、令和5年度定時総会を支部会館で開催し、令和5年度事業計画案などを承認しました。

小薬支部長は、豚コレラや鳥インフルエンザに対する会員の防疫作業協力を感謝し、「エネルギー、物価の高騰、円安、就労者不足などの問題により苦慮している。管内工事の増加や地域建設業の守り手としての重要性を訴えてまいる」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆監理技術者講習会、経営者研修会
- ◆献血ボランティア
- ◆働き方改革及びインボイス制度講習会

土浦支部

使命感持ち災害対応を



小林支部長

土浦支部（小林伸行支部長）は5月16日、令和5年度定時総会を支部会館で開催し、令和5年度事業計画案など可決しました。

小林支部長は防疫作業への協力に感謝の意を述べ、「災害時には使命感を持っていち早く現場に駆けつけてほしい。時間外労働の罰則付き上限規制にも対応しなければならない。意識改革が必要で、DX等に取り組み、生産性を上げなければならない」とあいさつしました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆土浦土木事務所等との意見交換会
- ◆建設技術者講習会、安全パトロール
- ◆道の日道路清掃活動、献血ボランティア活動

境支部

キャリアアップ支援へ



新井支部長

境支部（新井孝支部長）は5月9日、令和5年度定時総会を開催し、令和5年度事業計画を承認しました。

新井支部長は「建設キャリアアップシステムなど業界で求められていることについて、講習などを通して周知していきたい。厳しい状況が続くなか、支部員の皆さんと力を合わせて進めてまいりたい」と話しました。総会後にはドローン講習会を開催しました。

【令和5年度の主な事業計画】

- ◆経営者研修会、現場代理人研修
- ◆安全パトロール、雇用改善推進事業
- ◆道路美化清掃活動、献血活動

県建設業協同組合が総代会

保険や融資事業推進



茨城県建設業協同組合（石津健光理事長）は5月25日、令和5年度（第53期）通常総代会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催し、令和5年度事業計画などが承認されました。共済保険事業や融資事業を推進します。石津理事長は「円滑な事業継続のため、共済保険事業や融資事業に取り組んでまいりたい」とあいさつしました。

建災防県支部が総会

安全衛生意識の向上を



建設業労働災害防止協会茨城県支部（石津健光支部長）は5月25日、令和5年度定時総会を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。安全衛生教育活動や安全パトロールなどの令和5年度事業計画を承認しました。石津支部長は「安全の確保や労働災害の防止は大きな課題。ご協力を」と呼び掛けました。

担い手確保へ意見交換

太田支部



太田支部（瀬谷實支部長）は5月12日、茨城県常陸太田工事事務所（白戸元文所長）との意見交換会を開催。担い手確保へICT施工や情報共有システム、検査書類の削減、週休2日制、快適トイレ、CCUS活用について協議しました。瀬谷支部長は「働き方改革やICT施工などに協力して取り組んでいきたい」とあいさつしました。

災害時の情報伝達講習会

土浦支部



土浦支部（小林伸行支部長）は5月24日、茨城県土浦土木事務所（大森満所長）と災害時の情報伝達講習会を支部会館で開催。オンライン会議アプリの「Webex」について、アカウント登録、伝達方法などを研修しました。小林支部長は「導入する Webex は良いツール。各地区で対応できるようにしてほしい」と望みました。

特別支援学校生と駆除作業

大子支部



大子支部（大藤博文支部長）は6月1日、大子町頃藤地内の国道118号宮平橋付近で特定外来生物オオキンケイギクの駆除活動を、大子特別支援学校中学部生徒などと協力して行いました。大藤支部長は「駆除作業は9年目。安全に配慮し作業を」とあいさつ。特別支援学校の生徒が「楽しく活動できました」と感謝を述べました。

通学路の花壇で清掃活動

常総支部



常総支部（中川原勇支部長）は5月19日、豊加美小学校の通学路となっている国道294号とよかみ歩道橋の花壇の清掃と約60本のマリーゴールドの植付を行いました。通学路の花壇整備は約30年にわたり春と秋に継続して実施。中川原支部長は「児童や学校からも感謝されている。きれいな状態を保っていきたい」と話しています。

地域建設業PR! ステッカー、ポスターを作成

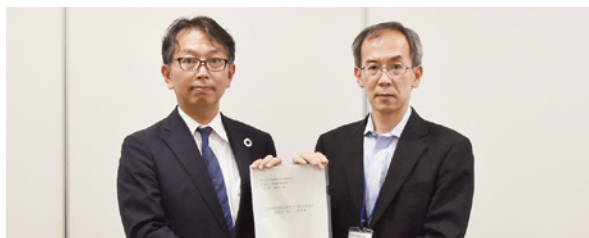


本会は、地域建設業が果たしている重要な役割や魅力を広くPRするため、ステッカー・ポスター等を作成しました。ステッカーは2種類6万枚（Aタイプ3万枚、Bタイプ3万枚）を作成。ポスターは、国県市町村などの各関係機関や県内の高校、専門学校、大学等に送付しました。また本部と支部で「のぼり旗」と「横断幕」を作成。建設業の重要性をPRしていきます。

1級土木施工管理の 一次検定で対策講座

本会は5月29日から31日まで、令和5年度の1級土木施工管理技士の第一次検定対策講座を水戸市の茨城県建設技術研修センターで開催。参加者は、試験当日までの計画の立て方や効率よい学習方法、法規や施工管理、土木一般、専門土木、共通工学などを研修。合格へ弾みを付けました。

県土木部が国機関へ 県内業者の活用要請



田村部長（左）が日下部常陸河川国道所長（右）に要請書を手渡しました

茨城県土木部は5月23日、国土交通省常陸河川国道事務所に対し「国の直轄工事における県内建設業者の受注機会等の確保」を要請しました。

要請内容は①県内に本店を有する建設業者への優先的な発注②自治体実績評価型や地域密着工事型の総合評価落札方式の積極的な活用③総合評価落札方式における企業の信頼性社会性項目（地域精通度・地域貢献度）の高配点化－など。

会員の動向

〈代表者・住所等変更〉

▽水戸支部

菅原建設(株)

【代表者】下田 徳行 → 若松 亜紀子

【住所等】〒310-0804 水戸市白梅1-2-33

電話 029-224-6561・FAX 029-224-7115

→ 〒311-1135 水戸市六反田町1213-1

電話 029-350-6396

FAX 029-350-6747

〈本部事務局〉

本部事務局の専務理事に矢口和博氏（元茨城県生活環境部長）が5月25日付で就任しました。よろしくお願いいたします。

知ってほしい、より安心の制度

法定外労災
補償制度

建設共済保険

お問い合わせ 公益財団法人 建設業福祉共済団

フリーダイヤル 0120-913-931

URL: <https://www.kyousaidan.or.jp/>

掛金負担が軽減

手厚い補償

労働者と企業のリスクをカバー